



2021年6月1日

報道関係各位

大和物流株式会社
代表取締役社長 木下健治
大阪市西区阿波座一丁目5番16号

■愛知県に12拠点目となる物流施設を開発 「(仮称)一宮丹陽町物流センター」を着工します

大和ハウスグループの大和物流株式会社(本社:大阪市西区、社長:木下健治)は、2021年6月1日、愛知県一宮市において物流施設「(仮称)一宮丹陽町物流センター」を着工します。



【完成予想図】

1. 開発の背景

近年、加速するECへの対応や物流効率化を目的とした配送網の見直し等から、物流施設の需要が拡大しています。中部エリアにおいても、新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要の増加を受け、空室率は低い水準で推移するなど、今後も底堅い需要が見込まれます。

当社においては、愛知県を中心に中部エリアの物流基盤強化を図るため、総延床面積約37,100㎡(11,223坪)の大型物流施設「小牧物流センターⅠ」及び「小牧物流センターⅡ」など、県内に11ヵ所、総延床面積約159,145㎡(約48,141坪)の物流施設を運営しています。

そしてこのたび、今後のさらなる物流需要の増加を見据え、「(仮称)一宮丹陽町物流センター」(以下「本センター」)を開発する運びとなりました。

2. 本センターの特長

(1) 市内配送と広域輸送を両立する物流適地

本センターは、名古屋高速 16 号一宮線「西春インターチェンジ」から約 1.5km に位置し、主要都市である名古屋市内への配送拠点として最適な立地です。

また、名神高速道路「一宮インターチェンジ」から約 2.4 km とアクセスに優れ、中部エリアのみならず、東西広域への交通利便性も高い物流適地にあります。

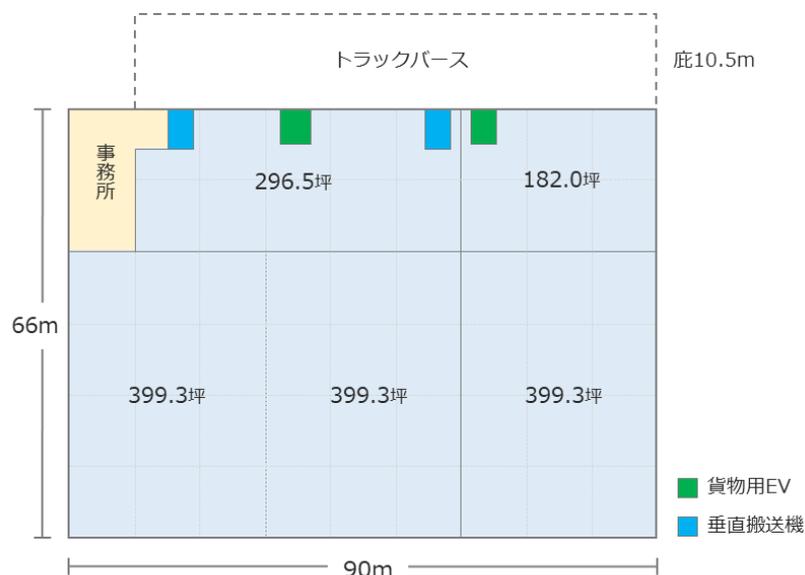


【地図】

(2) 効率的な入出庫を実現する施設仕様

本センターは、低床式ホームで、建材や機械などの重量物の取扱いに最適な床荷重 2.0t/m² の仕様を採用します。

また、トラックバス直結の貨物用エレベーターと垂直搬送機をそれぞれ 2 基設置するため、効率的な荷役業務が可能です。



【配置図 (1階)】

3. 今後の運用

本センターは、2022年5月末の竣工を予定しており、竣工後は交通利便性と充実した施設仕様を活かし、中部エリアに拠点を置くメーカーや流通業者向けの保管・輸配送拠点として当社が運営してまいります。

4. 施設概要

名 称	大和物流株式会社「(仮称) 一宮丹陽町物流センター」
所 在 地	愛知県一宮市丹陽町五日市場字天上7番他
敷 地 面 積	11,272.62 m ² (約 3,409.97 坪)
延 床 面 積	17,438.12 m ² (約 5,275.03 坪)
構 造 ・ 規 模	鉄骨造 地上3階建て 低床式
床 荷 重	2.0t/m ²
搬 送 設 備	貨物用エレベーター2基 (3.5t : 1基、4.5t : 1基) 垂直搬送機2基 (1.5t)
ア ク セ ス	名古屋高速16号一宮線「西春インターチェンジ」から約1.5km 名神高速道路「一宮インターチェンジ」から約2.4km
最 寄 り 駅	JR 東海道本線「稲沢駅」から約2.7km
着 工	2021年6月1日
竣 工	2022年5月末予定
稼 働	2022年6月予定
施 主	大和物流株式会社
設 計 ・ 施 工	大和ハウス工業株式会社
運 営	大和物流株式会社
U R L	https://www.daiwabutsuryu.co.jp/center/ichinomiya-tanyocho

●大和物流について

当社は1959年に大和ハウス工業株式会社の物流子会社として設立し、今年で創立62年を迎えます。建築・建材物流をコア事業とした総合物流業のほか、お客さまのニーズに合わせた物流施設開発を全国で進め、現在、自社で管理・運営する物流施設は、97カ所・総延床面積約28.9万坪(2021年3月末時点)に上ります。また、日本国内のみならず、グローバルへの展開も積極的に進めています。

以 上

お問い合わせ先

経営企画部 06-4968-6372